

7.2.3 江刺西部(岩谷堂/愛宕/稲瀬)地域

(1) 概況

本地域は、市の北部に位置し、江刺区内を流れる人首川、広瀬川の変遷によってもたらされた肥沃な土壤に恵まれた平坦地が、西にある北上川に向けて広がっています。

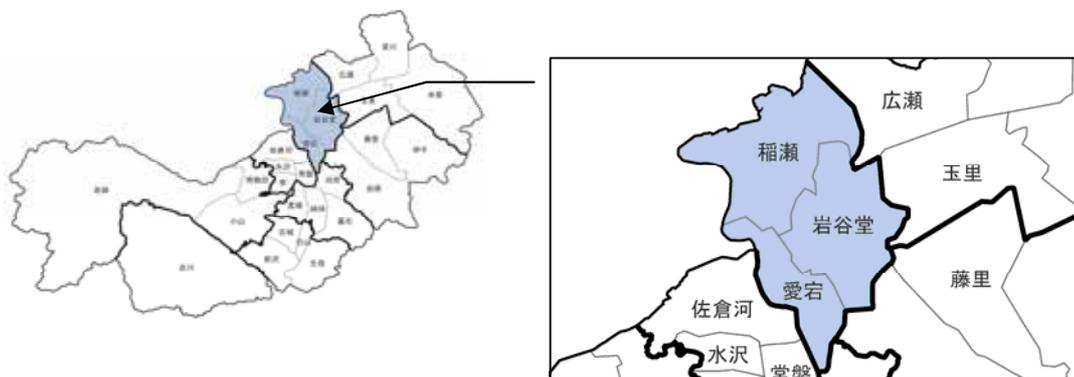
ほぼ全域が都市計画区域に指定され、江刺総合支所周辺と江刺愛宕地区の幹線道路沿いに商業系用途地域が、その周辺に住居系用途地域が指定されています。また、岩谷堂地区北部の工業団地に工業系用途地域が指定されています。

江刺総合支所周辺は、商業・業務、行政、医療、教育、文化等の都市機能が集積し、市北東部地域の中心的な役割を担っています。また、市街地に隣接するえさし藤原の郷は、年間十数万人の観光客が訪れる観光拠点となっています。

江刺愛宕地区、稲瀬地区は人首川、広瀬川がもたらした肥沃な土壤とかんがいの利を活かした農地が一带に広がり、米やりんご等の産地として高い評価を得ています。

また、この地域には、鹿踊、神楽等の民俗芸能や安倍氏の拠点であった鶴脛柵(つるはぎのさく)や県内最大級の窯跡である瀬谷子遺跡等の歴史・文化資源が残されており、これらを活用した賑わいのあるまちづくりが求められています。

地域の位置図



（２） 地域の課題

土地利用

- ・ 市北東部地域の都市拠点にふさわしい都市づくり
- ・ 江刺総合支所周辺とえさし藤原の郷との連携による賑わいづくり
- ・ 産業拠点の機能強化と江刺フロンティアパークへの工業系用途地域の指定
- ・ 土地利用の適正な誘導と用途地域内の低・未利用地の利用促進
- ・ 市街地の良好な街並みの維持・形成
- ・ 教育施設及び福祉施設周辺の土地利用の検討

道路・交通

- ・ 都市拠点をつなぐ道路網及び公共交通網の整備・充実
- ・ 市街地内の連絡性を強化する道路の整備・充実
- ・ 主要地方道水沢米里線の狭隘区間の解消
- ・ 通学路等における歩道の整備・充実
- ・ 生活道路における未舗装や狭隘区間の解消
- ・ バス路線網の充実や自転車通行スペースの整備
- ・ 長期未整備都市計画道路の見直し

自然環境、景観形成、公園・緑地

- ・ 水辺環境の保全と水辺に親しめる空間づくり
- ・ 河川や水路の水質向上のための継続的な取り組み
- ・ 蔵を活用した街並みの形成
- ・ 良好な田園景観の保全
- ・ 夢乃橋や向山公園の良好な視点場の活用
- ・ 公園の再整備と施設の適正な維持・管理

暮らし

- ・ 公共公益施設等のバリアフリー化の推進とソフト施策の充実
- ・ 災害に強いまちづくりの推進
- ・ 良好な宅地開発の誘導と地区計画等を活用した良好な住宅市街地の形成
- ・ 公共下水道等の整備
- ・ 地域コミュニティの強化

（3）まちづくりの目標と基本方針

地域が仲良く、水と緑とうるおいのある田園都市

岩谷堂地区を中心とする回遊性の高いまちづくり

岩谷堂地区の既存商店街や蔵まちモールとえさし藤原の郷との連携を強化するとともに、向山公園や館山地区の学校跡地等を活用した回遊性の高い賑わいのあるまちづくりを目指します。

農村景観・文化の香るまちづくり

実り豊かな田園環境とそこで育まれた農村景観や歴史・文化を保全・活用したまちづくりを目指します。

水と緑とうるおいのあるまちづくり

北上川をはじめとする水辺環境を保全・活用し、水と緑とうるおいのあるまちづくりを目指します。

（4）まちづくりの方針

土地利用・市街地整備の方針

- ・ 江刺総合支所周辺は、本市北東部地域の「都市拠点」として、水沢駅周辺、水沢江刺駅周辺と連携して、商業・業務、文化・交流、行政等の都市機能の集積を図ります。
- ・ 江刺総合支所周辺とえさし藤原の郷との連携を強化し、多様な歴史・文化資源を活かした観光等の充実を図り、賑わいのあるまちづくりを進めます。また、館山地区の学校跡地の有効活用を検討します。
- ・ 江刺中核工業団地及び江刺フロンティアパークは、本市の産業拠点として工業生産活動の維持・増進を図ります。また、江刺フロンティアパークは、工業生産活動の増進を害するおそれのある施設の混在を防止するため、工業系用途地域を指定します。
- ・ 住宅系市街地は、公共下水道の整備や狭隘道路等の解消を進め、良好な居住環境の維持・形成を図ります。
- ・ 用途地域の指定のない区域は、良好な居住環境や営農環境に支障を及ぼすおそれのある建築物等の建築を制限する土地利用規制を検討します。
- ・ 用途地域内の低・未利用地は、道路や下水道等の整備を進め、適正な宅地化を誘導するとともに、必要に応じて用途の変更又は建築形態制限の見直し等を進めます。

- ・ 市街地の良好な街並みの維持・形成を図るため、地区計画等を活用したまちづくりを進めます。
- ・ 岩谷堂小学校、江刺第一中学校及び岩谷堂高等学校の教育施設周辺やヒロノ福祉パーク周辺は、良好な環境の保護を図るため土地利用のあり方を検討します。

道路・交通システムの方針

- ・ 江刺市街地と各都市拠点との連携を強化するため、道路網や公共交通網の整備・充実を図ります。
- ・ 市街地内の連絡性の強化を図るため、（都）本町下川原線の整備を進めます。
- ・ 主要地方道水沢米里線における狭隘区間の拡幅整備を促進します。
- ・ 生活道路は、未舗装道路や狭隘区間、行き止まり道路等の解消を進めます。また、市民が安全で安心して通行できるよう歩道の整備・充実を図ります。
- ・ 自家用車に過度に依存することなく暮らせるまちづくりを実現するため、バス路線網の見直しや自転車通行スペースの整備を進めます。
- ・ 長期未整備の都市計画道路は、路線の必要性や配置、構造等の妥当性の検証を行い、必要に応じて見直しや廃止等を進めます。

自然環境の保全及び活用、景観形成、公園・緑地整備の方針

- ・ 河川や水路の改修等に際しては、魚道の設置や多自然川づくりを促進します。また、広瀬川、人首川等では、水辺に親しめる空間づくりを検討します。
- ・ 下水道等の普及やE M菌を活用した環境改善等の地域独自の取り組みにより、人首川等の河川や水路の水質が向上され、鮭の遡上が復活するなどの効果も見られており、今後も、河川や水路の水質改善に向けた取り組みを進めます。
- ・ 蔵を活かした街並みづくりが進められている蔵まちモール周辺については、良好な景観の維持・保全に努めるとともに、えさし藤原の郷との連携を強化し、観光拠点としての魅力の向上を図ります。
- ・ 北上川沿いに広がる田園景観は、農業施策と連携を図りながら保全し、桜やりんごの花等を活かした花と緑による景観づくりを進めます。
- ・ 夢乃橋や向山公園の良好な視点場を活用したまちづくりを進めます。
- ・ 身近な公園や広場が不足しているエリアについては、適正な配置に努めるとともに、既存施設の再整備を進めます。また、公園の遊具等の施設は、利用者が安心して利用できるよう定期的な点検を実施し、適正な維持・管理に努めます。

生活環境の整備の方針

- ・ 高齢者や障がい者、妊婦、けが人等の移動や施設利用者の利便性や安全性の向上を促進するため、公共交通機関、建築物、公共施設のバリアフリー化を進めます。また、バリアフリー化のためのソフト施策の充実も図ります。
- ・ 建物の耐震化や不燃化を促進し、災害に強いまちづくりを誘導します。
- ・ 宅地開発指導要綱や地区計画等を活用した、良好な住宅地の形成を図ります。

- ・ 公共下水道施設の整備を進めるとともに、公共下水道計画区域外においては、市営浄化槽の設置等を進めます。
- ・ 鹿踊、神楽等の民俗芸能や鶴脛柵（つるはぎのさく）、瀬谷子遺跡等の歴史・文化資源については、保全を図るとともに、まちづくりへの活用を促進します。
- ・ 地域の美化活動等の地域コミュニティの強化に資する取り組みを支援します。

江刺西部(岩谷堂/愛宕/稲瀬)地域まちづくり方針図

